

新たな産業振興ビジョン 中間まとめ(案)

区分

現状・課題・トレンド

本県の強み

取組の方向性

1 イノベーションを通じた新たな産業の育成

1 環境・エネルギー関連産業の育成

2 交流・賑わい型産業の育成

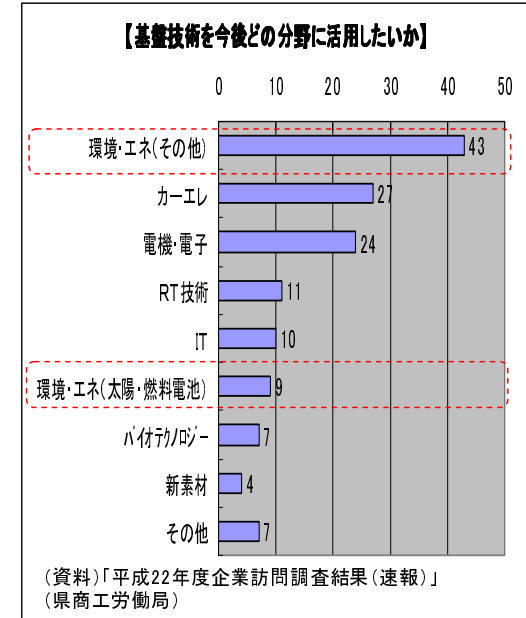
■ 環境・資源面での制約

- 地球温暖化対策に向けた各種環境制約
 - ・ 京都議定書 温室効果ガス削減目標: 2008(H20)～2012(H24)年までに6%減
 - ・ 民主党公約(マニフェスト) 温室効果ガス削減目標: 2020(H32)年までに25%減
- 枯渇する資源
 - 【化石燃料資源の可採年数】
 - ・ 石炭 133年 ・ 石油 41.6年
 - ・ 天然ガス 60.3年 ・ ウラン 100年
 - (資料:BP統計2008, ウランはURANIUM2007)

■ 市場拡大が見込まれる環境・エネルギー関連産業

- 太陽光発電
 - 世界市場3.7兆円(2010年)⇒25.4兆円(2030年)
- リサイクル
 - 世界市場16兆円(2005年)⇒33兆円(2020年)
- 水処理
 - 世界市場36兆円(2007年)⇒87兆円(2025年)
- LED・有機EL
 - 国内LED照明市場
 - 0.6兆円規模(2007年)⇒1.0兆円規模(2015年)
- バイオマス
 - 県内原木生産量(スギ・ヒノキ)
 - 5万m³(2007年)⇒40万m³(2020年)
 - 発電容量37千MW(2008年)⇒92千MW(2020年)
 - (出典)太陽光発電(中国経済産業局報告書), リサイクル, 水処理(産業構造ビジョン2010(経済産業省)), LED・有機EL(白色LEDの技術ロードマップ(LED照明推進協議会)), バイオマス(県林業課, 富士経済)

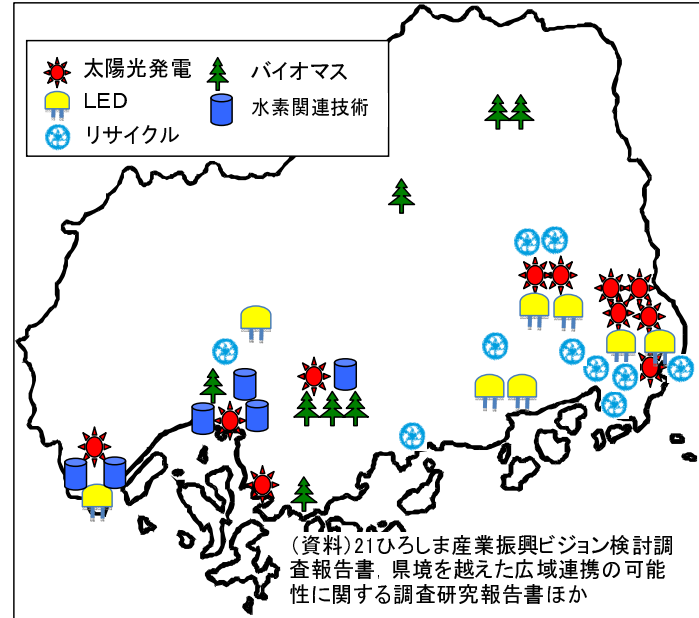
■ 企業における環境・エネルギー分野への高い関心



■ 基幹産業である製造業, ものづくり技術・ノウハウ → 県内における産業化への大きな可能性

- (例)
- 電子部品・デバイス製造メーカーの半導体・FPD関連技術により, 太陽電池製造過程での応用が可能
 - 公害防止対策で培った技術により, 環境浄化, 環境保全, リサイクルなどへの応用が可能

■ 企業における環境・エネルギー関連産業へのさまざまな取組



■ 環境・エネルギー関連分野への進出による産業クラスターの形成, 新たな基幹産業としての確立

環境制約・資源制約への対応やエコ意識の高揚により, 環境・エネルギー関連産業の市場拡大が期待される中で, 県内企業においては, 環境・エネルギー関連分野への高い関心があり, さまざまな取組が行われている。県内企業におけるものづくり技術・ノウハウの中には, 環境・エネルギー関連分野への応用が可能なものもあり, こうした技術等を活用して, 環境・エネルギー関連分野への進出を果たし, 産業クラスターの形成や, 本県の新たな基幹産業としての確立を目指す。

- (例)
- 装置・部品部材製造への進出
 - 金属加工, 機械製造など, 県内の裾野の広い産業集積を活用して, 環境・エネルギー関連装置や部品部材の製造への進出を図る。
 - ・ 太陽光発電
 - ・ LED
 - ・ 風力発電 など
 - 製品製造・システム販売等への進出
 - 県内企業の取組や技術・ノウハウなどを活かし, 環境・エネルギー関連製品やシステム販売, サービス提供などへの進出を図る。
 - ・ LED
 - ・ リサイクル
 - ・ バイオマス
 - ・ 水処理 など

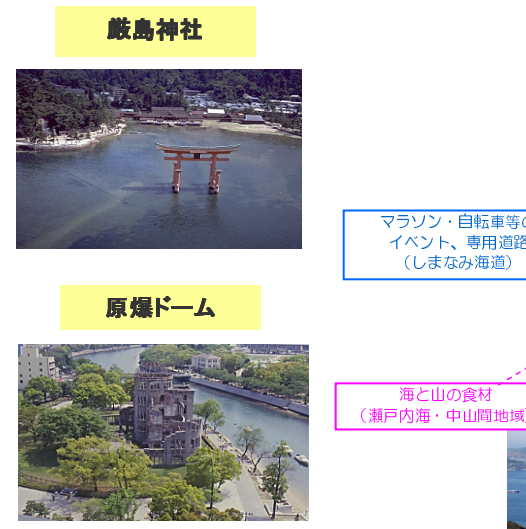
■ 観光を取り巻く環境の変化

- 高度情報化の進展により, 幅広い各種観光情報発信が飛躍的に拡大
- 「遊覧見物」「団体」型の旅行から「体験」「個人」型の旅行の増加など, 旅行目的や形態の多様化が進展
- 市町村合併の進展により, 区域の広がった市町では地域資源の増大とともに地域づくり・まちづくり取組が進展
- 少子高齢化・人口減少社会の進行による定住人口の減少, 若年層のレジャー離れが進展により交流人口の拡大が困難
- 高速交通網整備による旅行圏拡大, インターネット等を通じた観光情報発信の充実などにより観光地間の競争激化

■ 本県の観光振興における課題

- 観光地ひろしまの知名度向上
- 多様なニーズへの対応
- 地域の主体的な取組の強化
- おもてなしの向上
- 国際観光の推進による交流人口の拡大
- 広域連携・地域間連携の強化

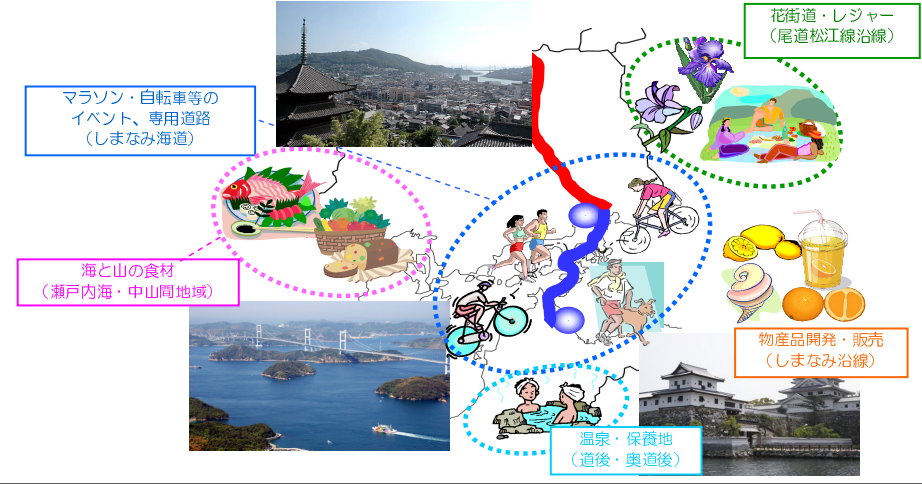
■ 豊富で多彩な観光資源の存在 (2つの世界遺産, 瀬戸内海国立公園, 多くの景勝地等)



■ 高い国際的知名度

■ 空港, 高速道路, しまなみ海道等の交通インフラの充実

■ 海の道構想(策定中)



■ 海の道構想との連携, 観光イノベーションの促進による観光関連産業の育成・強化

観光を取り巻く環境が変化し, 観光地ひろしまの知名度向上, 多様化するニーズへの対応等が求められる中で, 豊富で多彩な観光資源や, 高い国際的知名度などを活かすとともに, 海の道構想(策定中)との連携や, 観光イノベーションの促進により, 観光関連産業を育成・強化する。

- (例)
- 観光イノベーションの強化
 - 近畿圏と九州に埋没してしまう本県観光のイメージをより際立たせる取組を強化するため, 首都圏等大都市圏における本県観光のデザイン戦略に取り組む。
 - 観光素材の発掘とブランド化
 - ①観光素材の付加価値向上, ②ストーリーによる観光素材のセット化(農林漁業, 医療, ものづくり, 食等), ③多様なニーズに応じた観光客の満足度が高く, リピーターの増加につながる強い観光地づくりを目指す。
 - 観光関連産業における人材育成
 - 市町や観光関連団体等と連携し, 産業界や地域のニーズに応じた観光を支える人材の育成を充実させる。